

事業所名		福岡発達センターいちばん星古賀 放課後等デイサービス いちばん星jump									
		チェック項目		はい		いいえ		工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	0.0%							
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75.0%	25.0%							・学校が長期休暇の際は、職員がもう少し必要と感じる
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75.0%	25.0%					・スケジュール提示は文字だけでなく、絵も表示して伝わりやすくしている ・段差が大きい場所は手すりなど設置している ・バーションの活用など伝わりやすい視覚支援をしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%							
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	87.5%	12.5%							・個別の部屋を準備できやすい環境にある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	75.0%	25.0%							・ミーティングや会議等で常に振り返りを行っているが、セラピストの参加が難しいことがある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75.0%	25.0%							・意見等に基づいてどの様な方法で改善出来るか検討している
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%							・ミーティング等で声をかけ確認するように工夫している
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50.0%	50.0%							
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%							・研修の案内がある
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%							
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%							・ニーズを取り入れ、本人に必要な取り組みを考えている
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%							・関わる職員全員の意見等を出してもらう様に工夫している
	14	放課後等デイサービス計画が職員間共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75.0%	25.0%							
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75.0%	25.0%							・アセスメントを使用している確認への改善が必要
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容が踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%							・各児童・家庭によって支援内容を適切に判断している
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	87.5%	12.5%							・アイデアを出し合いながら立案する工夫をしている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%							・繰り返しの経験が必要なグループもあるので、グループによって変えている
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%							・子どもの状況に合わせて、時には保護者とも相談しながら支援を行えるよう工夫をしている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%							
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%							
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%							
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%							
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	87.5%	12.5%							・固定化しない様に活動内容を見直ししながら工夫して行っている
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%							・実物の提示や絵カードの使用等で自己選択を優先し、自己選択する力を育てる支援を行っている ・中高生は自分たちで活動を考えて決めたり話し合う場を設けて実行している
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参加しているか。	87.5%	12.5%							・参加する前に関わっている職員に様子等を聞き、様々な情報を持って参加している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75.0%	25.0%							・学校等と状況報告などを話している
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%							
	29	就学前に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか。	87.5%	12.5%							・利用前に情報聞き、課題があれば相談している
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75.0%	25.0%							・配慮する点についてなどの情報提供をしている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受けられる機会を設けているか。	75.0%	25.0%							
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	12.5%	87.5%							・市の祭りなどに参加している
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50.0%	50.0%							・個人情報登録する必要があると難しい
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	87.5%	12.5%							・保護者と関わりで小さな情報でも聞くようにしている ・子どもの状況を伝え、共通理解へと繋げているが、まだ共通理解までできていないケースもあるため、今以上に発信していくよう改善が必要
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75.0%	25.0%							・定期的に保護者との勉強会の企画を立て実施している
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%							
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%							
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%							
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	87.5%	12.5%							・相談があれば面談などの場を設けている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	87.5%	12.5%							・学年や年齢などに合わせて、保護者会を開催したり、行事等で交流が行える様に工夫している
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%							・迅速かつ適切に改善出来るよう、部署内だけでなく上司にも相談しながら対応している
	42	定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	87.5%	12.5%							・Instagramで発信している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%							
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%							
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	37.5%	62.5%							
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%							
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%							
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	87.5%	12.5%							・保護者と面談を行い、確認し変更がないかの確認もしている
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	87.5%	12.5%							・指示書をもらい、適切な対応が行える様に工夫を行っている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%							
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	87.5%	12.5%							・年度初めに、連絡先などを書いた名刺サイズの物を渡しお財布などに入れてもらう様に工夫を行っている
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%							・毎回報告と改善を挙げて
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%							・研修の中でやっている
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%							